



2019年9月期第3四半期 決算説明資料

株式会社 EduLab
東証マザーズ (4427.T)

2019年8月9日

EduLab.

| | |
|-----------------|----|
| 第3四半期決算概況 | 2 |
| 2019年9月期第3四半期実績 | 3 |
| 2019年9月期通期見通し | 9 |
| 事業トピックス① | 11 |
| 事業トピックス② | 13 |
| 事業トピックス③ | 15 |

1. 2019年9月期3Q決算概況

- 連結売上高 4,357百万円（前年同期比 60.9%増）
- 連結営業利益 697百万円（同 40.2%増）
- 連結経常利益 460百万円（同 7.4%増）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 289百万円（同 46.8%増）
 - EPS 34.81円

2. 2019年9月期3Qの事業動向

- e-Testing/e-Learning事業では、英ナビ・スタディギアの広告収益の立ち上がりの後れを、2020年4月から本格運用開始される英語外部検定に関わるテスト及びラーニング関連の新規受託の拡大が補い増収（17.6%増）。但し一部売上の4Qへの期ずれが発生
- テスト運営・受託事業では、平成31年度全国学力・学習状況調査が順調に推移し172.6%増と大幅増収

3. 2019年9月期通期見通し

- テスト及びラーニング関連の新規受託の拡大が4Qにも大きく寄与する見込みで通期見通しは期初予想変更なし
 - 連結売上高 6,810百万円（前年比 71.6%増）
 - 連結営業利益 1,408百万円（同 46.0%増）
 - 親会社株主に帰属する当期純利益 861百万円（同 56.9%増）

2019年9月期 第3四半期実績

損益計算書

(単位：百万円)

| | 18年9月期 3Q | 19年9月期 3Q | 対前年同期比 |
|----------------------|--------------|--------------|--------|
| 売上高 | 2,708 | 4,357 | +60.9% |
| EBITDA | 673 | 1,061 | +57.6% |
| EBITDA率 | 24.9% | 24.3% | △0.6pt |
| 営業利益 | 497 | 697 | +40.2% |
| 営業利益率 | 18.4% | 16.0% | △2.4pt |
| 経常利益 | 428 | 460 | +7.4% |
| 親会社株主に帰属する四半 期純利益 | 197 | 289 | +46.8% |

- e-Testing/e-Learningでは、英ナビ・スタディギアの広告収益の立ち上がりの後れをFY09/20年度に向けた英語テスト・教材システム等の仕様変更業務の拡大が補って増収（17.6%増）
- テスト運営・受託事業では、平成31年度全国学力・学習状況調査が順調に進み172.6%増と大幅増収
- 売上認識について、一部4Qへの期ずれが発生。e-Testing/e-Learningにおけるテスト・教材システムの仕様変更関連の準委任業務及び全国学力・学習状況調査において発生
- 販売管理費は事務所移転費用を含めてほぼ想定通り推移し営業利益は40.2%増を達成。
- 為替レートの変動による為替差損66百万円が経常利益に大きく影響しているものの、ファンド運営費、融資・借り換え関連費用の発生も吸収して経常利益・四半期純利益はそれぞれ7.4%増、46.8%増となった。

セグメント別の売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

| 事業セグメント | | 18年9月期 3Q | 19年9月期 3Q | 対前年同期比 |
|--------------------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
| e-Testing/ e-Learning | 売上高 | 1,951 | 2,294 | +17.6% |
| | セグメント 損益 | 865 | 999 | +15.4% |
| テスト運営 ・受託 | 売上高 | 756 | 2,063 | +172.6% |
| | セグメント 損益 | 172 | 435 | +152.2% |
| 全社費用 | | △540 | △737 | 196百万円 増加 |

■ e-Testing/e-Learning事業

- 英検受験者数は引き続きYoY5%のペースで増加しライセンス収益拡大
- 前期からサービス開始した多教科プラットフォームサービス、広告収益も見込みに届かないながら増収に寄与
- テストシステム提供等でテスト・教材システム等の仕様変更関連の準委任契約が拡大

■ テスト運営・受託事業

- 全国学力・学習状況調査は3Qに業務が集中し大幅増収要因に。プロジェクト最終利益率も当初想定を上回る見込み
- 当初の3Qより約100百万円の売上が4Qへ期ずれ

■ 全社費用

- 主な増加要因に以下が含まれている。
 - ① 特別賞与支給（11百万円）
 - ② 上場等に伴う外部専門家報酬支払増（19百万円）
 - ③ 一部役員報酬のセグメント費用から全社費用への配分変更（52百万円）
 - ④ 事務所移転費用（34百万円）等
- このうち①、②、④は一過性であり、③についてはセグメント費用からの移動

サブセグメント別の売上高

(単位：百万円)

| 事業セグメント | サブセグメント | 19年9月期 3Q | 対前年同期比 |
|--------------------------|------------|-----------|--------|
| e-Testing/ e-Learning | 英ナビ・スタディギア | 1,258 | +28.6% |
| | 英検Jr. | 142 | △2.2% |
| | TEAP CBT | 73 | +34.2% |
| | CASEC | 276 | +0.1% |
| | テストシステム提供等 | 544 | +9.5% |

■ 英ナビ・スタディギア

- ライセンス収入等の拡大（49百万円）、広告収入の拡大（60百万円）、プラットフォーム利用料の拡大（170百万円）等により増収。ただし広告収入の伸びは予想に届かず

■ 英検Jr.

- 商品構成の見直しの最中で引き続き**対前年比で微減基調**

■ TEAP CBT

- コンテンツ利用ライセンス料の値上げが期を通じて貢献し増収

■ CASEC

- 受注・販売は順調に拡大。**試験の消化も進み前年対比でプラスに転じる。**

■ テストシステム提供等

- 手書き文字認識「DEEP READ」関連ライセンス収入、海外子会社でのソフトウェアライセンス売上の拡大、採点系システムの設定変更業務等により増収
- 来期以降の英語試験市場の拡大に対応するため、テスト・教材システム等の仕様変更に関連する準委任契約が拡大

営業外損益

(単位：百万円)

| | 18年9月期 3Q | 19年9月期 3Q | 対前年同期比 |
|-----------|--------------|--------------|--------|
| 営業外収益 | 1 | 68 | 67 |
| 投資有価証券売却益 | - | 67 | 67 |
| その他 | 1 | 1 | △0 |
| 営業外費用 | 69 | 305 | △235 |
| 為替差損 | 10 | 66 | △55 |
| ファンド運営費 | - | 80 | △80 |
| 株式公開費用 | - | 35 | △35 |
| 投資有価証券評価損 | - | 28 | △28 |
| 融資・借換関連費用 | 10 | 35 | △25 |
| 支払利息 | 26 | 27 | △1 |
| その他 | 23 | 34 | △11 |

- 3Q中の主な増加要因は①為替変動による為替差損、②ファンド管理費、③借換費用等
 - 為替差損は円高基調のため2Q時点より30百万円拡大
 - ファンド管理費は14百万円拡大。但し、3Q以降少数持分出資者が参加しており、その比率は51.6%に上昇
 - 3Qに満期を迎えた社債の借換のため、資金の安定調達を企図した長期資金の調達により6.5百万円を支出

(単位：百万円)

| | 2018年 9月末 | 2019年 6月末 | 増減額 |
|-----------------|--------------|---------------|----------------|
| 流動資産 | 5,002 | 9,018 | + 4,016 |
| 現預金 | 3,125 | 7,498 | + 4,372 |
| その他 | 1,877 | 1,520 | △ 356 |
| 固定資産 | 2,772 | 3,368 | + 595 |
| ソフトウェア | 1,792 | 2,020 | + 228 |
| 投資有価証券 | 445 | 476 | + 30 |
| その他 | 535 | 871 | + 336 |
| 繰延資産 | 26 | 16 | △ 10 |
| 資産 合計 | 7,802 | 12,403 | + 4,601 |
| 流動負債 | 3,366 | 4,299 | + 933 |
| 有利子負債 | 2,641 | 3,060 | + 418 |
| その他 | 724 | 1,239 | + 515 |
| 固定負債 | 1,908 | 1,874 | △ 34 |
| 有利子負債 | 1,896 | 1,862 | △ 34 |
| その他 | 11 | 11 | △ 0 |
| 負債 計 | 5,274 | 6,174 | + 899 |
| 純資産 計 | 2,527 | 6,229 | + 3,702 |
| 負債純資産 合計 | 7,802 | 12,403 | + 4,601 |

- 3Q中に全国学力・学習調査の期中支払いを受け、また長期運転資金として有利子負債を増加したことにより現預金残高は7,498百万円
- 固定資産は2Q末より151百万円増加。主な内訳としてソフトウェア46百万円、その他104百万円
- テストセンター事業を含めた今後の投資計画に基づき、コミットメントラインの活用も含めた有利子負債水準を決定していく方針

2019年9月期 通期見通し

(単位：百万円)

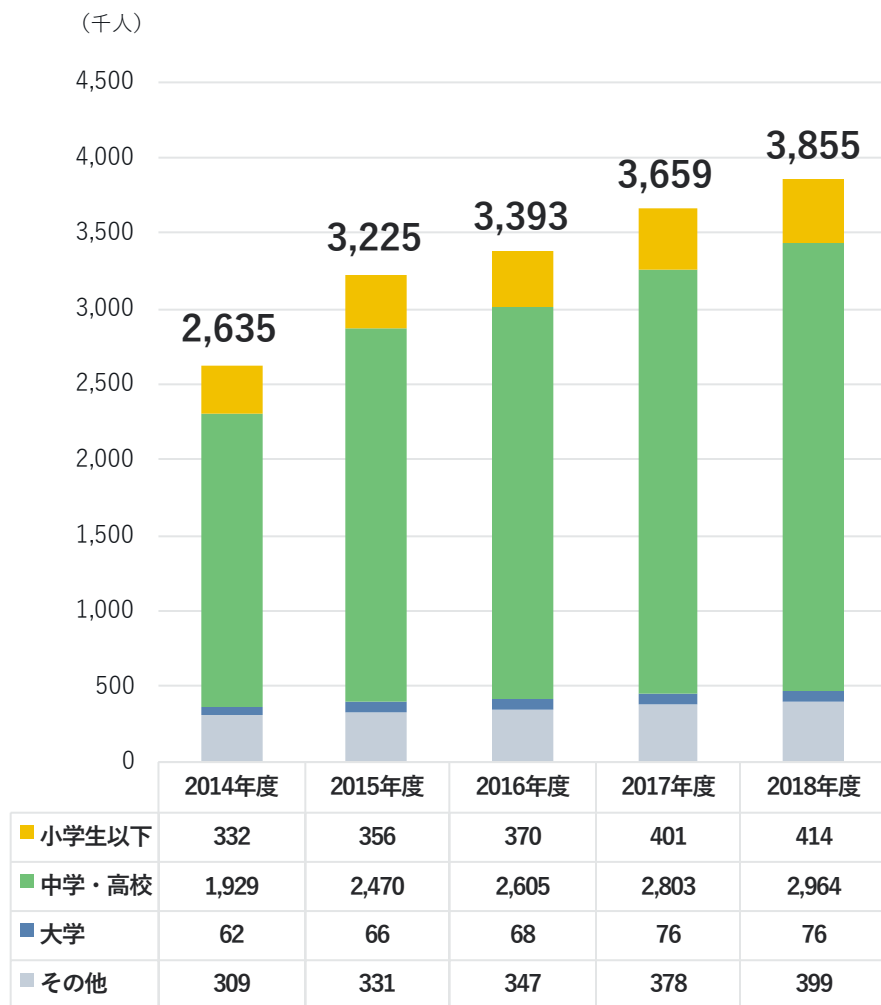
| | 19年9月期 3Q (実) | 19年9月期通期 (予) |
|--------------------------|------------------|-----------------|
| 売上高 | 4,357 | 6,810 |
| 営業利益 | 697 | 1,408 |
| 営業利益率 | 16.0% | 20.7% |
| 経常利益 | 460 | 1,290 |
| 親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益 | 289 | 861 |

- 平成31年度全国学力・学習調査は順調に推移し、4Qにずれた分も含めて予定通り今期中に寄与する予定
- 広告売上の立上りの後れは、利益率の高い英語試験系のシステム開発案件の増加でカバーできる見込み
- 売上が予想に対して若干弱いものの、各利益水準については十分達成可能であり通期予想を据え置き

事業トピックス①

テストセンター事業

英検志願者数 推移



■ 英検の志願者数は年々増加傾向

- 大学入試改革や英語教育の低年齢化等の追い風を受け、英検受験者は年々増加

- 2018年度の受験者数は**385.5万人** (YoY +5.3%)

■ 2020年度～大学入試で英語の民間試験活用を開始

- 大学入試センター試験に替わり2020年度から実施される「大学入学共通テスト」にて、英語の民間試験の活用が開始

■ 全国に「テストセンター」を設置

- 「大学入試英語成績提供システム」に対応する「英検2020 1day S-CBT」の需要増に答え、できる限り柔軟な受験機会を提供するため、**全国186エリアに約260**のテストセンターを**2020年4月***より設置、運営開始。コンピューター上で随時受験できる体制を整える。

※詳細日程は本申込時に公表予定



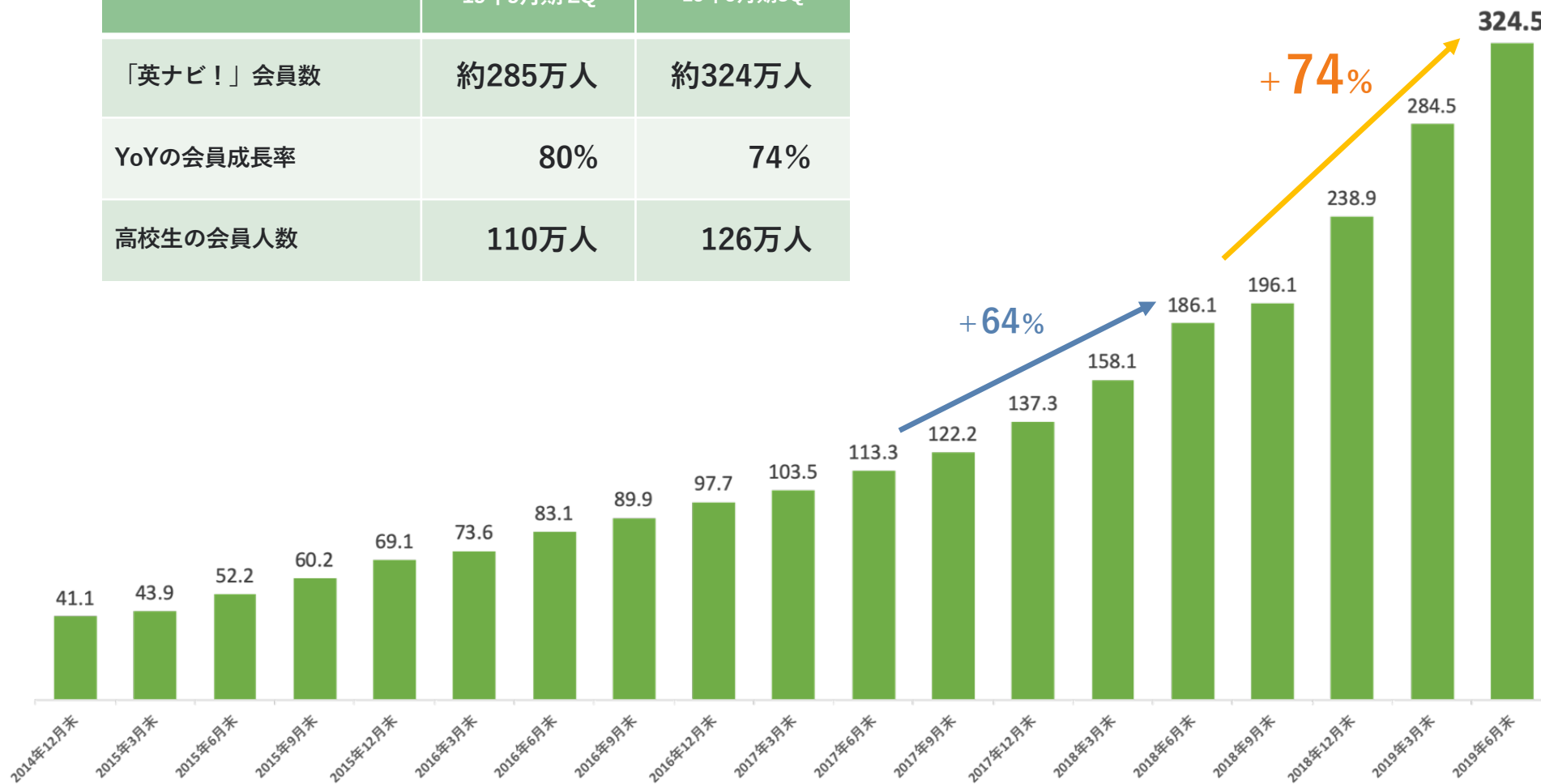
事業トピックス②

プラットフォーム事業

■ 前四半期に引き続きYoYでの会員数は大きく伸長

万人

| | 19年9月期 2Q | 19年9月期 3Q |
|-----------|-----------|-----------|
| 「英ナビ！」会員数 | 約285万人 | 約324万人 |
| YoYの会員成長率 | 80% | 74% |
| 高校生の会員人数 | 110万人 | 126万人 |



事業トピックス③ テストシステム提供等

2020年4月から本格運用開始される英語外部検定に関わるテスト及び
ラーニング関連の新規受託が拡大しており、多くは今期4Qから貢献する予定

2020年大学入試関連プロジェクトの新規受託

(単位：百万円)

| テーマ | 3Q | 4Q | 合計 |
|--------------------|----|-----|-----|
| オンライン型スピーキングシステム提供 | ✓ | | |
| 採点システムの新検定追加 | ✓ | ✓ | |
| 既存テストのCBT化検討 | | ✓ | |
| AI採点導入 | | ✓ | |
| 団体申込機能変更 | | ✓ | |
| 当期インパクト | 70 | 179 | 249 |

4技能ラーニング機能強化関連の新規受託

(単位：百万円)

| テーマ | 3Q | 4Q | 合計 |
|---------------------------|----|-----|-----|
| Speaking/Writingラーニング機能追加 | | ✓ | |
| AI Adaptive Engine機能追加 | | ✓ | |
| 英検準1級ラーニングコンテンツ対応 | | ✓ | |
| 児童向けSpeaking機能追加 | | ✓ | |
| 当期インパクト | - | 105 | 105 |

- 本資料は、株式会社EduLabの業績等について、株式会社EduLabによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社EduLabの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、本資料開示時点（2019年8月9日現在）において利用可能な情報に基づいて株式会社EduLabによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。